

2021年7月号



県連ニュース

2021年度第2回三役・事務部合同会議の報告

日時・場所：2021年7月10日（土）10：00～12：00 牛田公民館

1. 参加者 坂井、小形、安達、宮本、香川、滝、中本、佐々木 （記録；中本）

2. 報告事項

①クリーンハイク実施状況

広島(6/6 日浦山)、やまぼうし(6/6 牛田山；中止)、佐伯(6/6 大野権現山；中止)、桃源郷(6/6 三倉岳；中止)、令峰(6/6 呉婆々宇山；有志7名で実施)
今後対応は組織部会(7/16)で行う。

②6/20 全国機関紙会議（Zoom 会議、香川）[※p3 参照]
機関紙の電子メディア化に向けて意見交換が行われた。

③6/26 全国ハイキング活動者会議（Zoom 会議、滝）
[※p4 参照]
コロナ禍の中での活動報告と方針が討議された。

④6/29 労山基金(団体)の活用方法（Zoom 会議、小形）
（会議は欠席）

<もくじ>

・第2回三役・事務部合同会議報告	1
・全国機関誌会議報告	3
・全国ハイキング活動者会議報告	4
・平和行進への参加呼びかけ	5
・第3回全国救助技術交流集会報告	6
・ステップアップ講座「夏山気象」報告	10
・広島西 WF に関し要望書を県に提出	11
・市間山・立岩山を登って	12
・(附) 国民平和大行進県内のコース	13
・県連関係スケジュール表(7～8月)	14

・各会労山基金口数一覧

基金加入口数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
安佐岳友クラブ	2				3						5
呉勤労者山の会	8		1	2	24					3	38
佐伯山の会	4		1		38					1	44
山岳同人 R A I Z					6						6
福山とんど	4										4
桃源郷クラブ		3			9						12
広島勤労者山の会	6				19						25
広島勤労者 HC やまぼうし	55				7						62
ひろしま令峰クラブ	6		2		5						13
県北山の会	33			1							34
計	118	3	4	3	111	0	0	0	0	4	243

⑤7/3～4 全国救助技術交流集会（安達、小形、吉田、後藤） [※p6-10 参照]

・ココヘリとドローンを活用した捜索訓練など。

⑥第3回初級登山学校開催状況（担当；佐々木）

・白山登山バス申込み状況

HRC(9)、登山学校(4)、佐伯(6)、呉(1)、幹事(1) 計21名 キャンセル待ち；HRC1、登山学校1、計2参加者の意欲は高い。

⑦気象ステップアップ講座①「夏山」 [※p10 参照]

参加申込状況（7/8時点）やまぼうし(2)、佐伯(3)、呉(5)、HRC(4) 計14名

3. 議題

①広島西 WF [※p11-12 参照]

*手続き状況（7/8現在）

- ・広島市が6/7、廿日市市が5/28、安芸太田町が5/28 方法書への意見書を県知事に提出
- ・県は6/17、技術審査会へ諮問
- ・理事長名で県知事へ要望書提出（6/18付けで郵送）

*事業実施区域内での登山実施状況

- ・佐伯：4/23 小室井山東方のブナの巨木調査実施、ブナの周径2.4mを確認。
5/9 立岩～市間山、6/12 湯来冠山の登山はコロナ禍のため、秋の平日に延期
- ・やまぼうし：5/23 立岩～市間山は中止、12/12 湯来冠山実施予定
- ・令峰クラブ：10/17 立岩～市間山を実施予定
- ・呉：12/5 湯来冠山での登山実施予定
- ・桃源郷クラブ：梅雨明けに立岩山～市間山を筒賀の坂原集落から登山予定
- ・広島：10/3 立岩～市間山

②第1回女性委員会開催

*日程・会場等 7/23(金)10:00～12:00 市民交流プラザ（袋町）

*議題等 2021年度の活動についてなど。筋力トレーニング（山筋ゴーゴーの普及）

③平和行進 [※p5, p13 参照]

*7/26(月) 岡山県からの引継ぎ

*県内平和行進

*8/4(水) 集結集会

県連ニュースで呼びかけを行う。

④県連交流ハイク「吉田 郡山城」

組織部会で日程調整して、8月に決定する。

3. 今後のスケジュール

- ・7/11(日) 初級登山学校実技登山③「高城山～蓮華寺山」
- ・7/16(金) 組織部会②
- ・7/19(月) 初級登山学校机上講座⑤「登山計画立案と安全確保」
- ・7/25(日) 初級登山学校実技登山④「宮島弥山」&修了式
- ・7/26(月) 平和行進（岡山県引継）
- ・7/30～8/1(金～日) 初級登山学校オプション登山「白山登山バス」
- ・8/4(水) 平和行進集結集会
- ・8/7(土) 理事会③
- ・9/4(土) 三役・事務部合同会議③
- ・9/5(日) 中地協代表者会議（三次市）各部等からの報告

「全国機関誌会議」(2021/6/20) 報告

県連事務部長 香川佳久

日 時 2021年6月20日(日) 午前10時~12時、13時~15時
場所他 全国労山事務所1階会議室 基本ZOOMによるリモート参加、会場参加も可
参加者 各県連代表者(13県、理事長、会長、事務局長が多かった)、全国連盟理事、事務局等
合計37名 内リモート参加15名 広島県連 香川事務部長がリモート参加
議事進行 10:00~12:00 開会宣言、開会挨拶の後、浦添理事長より基調報告、川嶋事務局長
より資料説明、地方連盟からの発言 12:00~13:00 昼食休憩 13:00~14:50 自由
討論、全国理事会からのまとめと提案 14:50 閉会挨拶 で進められた

1. 基調報告(浦添理事長)

2月に開催された全国評議会で、読者数が減少している「登山時報」を今後どうするかについての検討をするために「全国機関誌会議」を開催する事が決定された。

「登山時報」は全国労山の機関誌として発行されてきたが購読は減少を続け2020年11月には会員の購読率は13%に減少した。一般会計から編集助成金を繰り入れてきたが2021年の編集助成金は300万円に膨れ上がっている。

会員の13%しか購読していない登山時報の発行の可否が問われている。全国連盟・機関誌委員会は購読者を増やすよう努力してきたが購読者の増加には至らなかった。

評議会で「2021年は登山時報の発行費用を極力抑える、登山時報を機関誌として全会員に無料配布を検討する、発行の諸問題を検討する機関会議を開催する、登山時報が全会員に配布されるようになれば有料購読は廃止する」事が決定された。

以上を踏まえ皆さんの忌憚のない意見をお聞きしたい。

2. 資料説明(川嶋事務局長)

登山時報の変遷、購読者数、労山会員数の変遷、労山基本問題調査委員会第一委員会答申、機関誌検討委員会討議資料、他

また現在労山HPにて3か月前のバックナンバーから過去に遡って閲覧できる(現在は購読者との兼ね合いで同時掲載は見送っているがHP掲載ならこんな感じになる。

3. 地方連盟からの発言

(1) 広島県連の発言 : メディア化すればより良い誌面が出来る、メディア化するのも良いができれば紙で読みたい、等皆さんの意見の他HPでの閲覧は良いが機関誌に興味ある会員は少ない感じなのでどの程度閲覧数が増えるか分からない、それは単に機関誌だけの問題ではなく労山会員のあり方そのものの検討が必要なのではないか。県連ニュースはPDFで配信しています。労山ニュース等は送られてくるが例会に全員参加するわけでもないのだから配布に苦労している、他県連でも発言されたがPDF配信が良いのでは。程度の発言を行った。

(2) 他連盟からの意見抜粋 : 県連ニュース等はPDF化して大幅に経費節減になった、経費節減にはメディア化するのが良い。紙面しか読めない人もいて二本立てで行ってほしい。経験の浅い会員が多く登山時報は難しすぎるので枚数減白黒印刷で配布すれば安くなる。高齢者が多く紙しか見れない。メールニュース、労山ニュース、登山時報を統合して資金を集中した方が良い。三誌はそれぞれにターゲットが違うのでは?。機関誌なのだから全員閲覧を目指すべき。

紙面しか読めない方たちにはクラブか県連の方で印刷してはどうか?かなり安い外注もある。

機関誌の購読が13%なのはクラブ員の参加意識等労山会員とは何かにも関連する。

他の山岳団体の機関誌はどうなっているのか、実績を調査してほしい。(各団体の機関誌は連盟図書室に有ります、日山協は年1回発行だった様な?詳細は調査との回答) 等の意見があった。

4. 自由討論

地方連盟の発言に補足した発言があったが基本的には同じ傾向。

紙面での配布をどうするか各クラブのやり方などの意見。

書店での販売は考えていないのか？（取次店やアマゾンでの販売はロイヤリティーが高く不可能との回答、労山発行の書籍はアマゾンでも取り扱っているがロイヤリティーは価格の40パーセント）

メディア化を進める意見と紙面の維持を求める意見があったが基本はメディア化を進める方向が強い様でした。

5. まとめと提案（全国連盟）

皆様の意見を聞きましたがそれを踏まえて機関誌検討委員会を進めてゆきます。

機関誌は全会員への配布が必要と考えます。

三誌の統一についても委員会にて検討してゆきます。

検討委員会への参加を希望する4名を確認。

労山ニュースの紙面配布が必要ない会・クラブは連絡してもらえればPDFにて配布します。

現在労山HPでは3か月前から過去の登山時報が閲覧できます、是非ご覧ください。また会員に知らせて閲覧を増やしてください。

6. 閉会挨拶

皆様お疲れ様でした、これにて閉会します。

【出席しての所見】

- (1) 出席者は地方連盟13連盟（複数名の参加有）後は全国連盟理事で活発な討論とは言えなかった。
- (2) 4月からメディア化した登山時報が労山HPで閲覧できるようになっている（三か月前から以前には遡って閲覧可能）現在は購読者の残金が残っているので差別化しているが最終的にはHPでの閲覧を目指していると感じた、その際は無料化するのではないかと思う。
- (3) 紙面での配布を希望する方の取り扱いが今後の問題点になるが、ある県連出席者から「各県連の多くが県連機関紙をPDFで配信しており全国連盟の対応は遅れている」との意見もあった。もはや紙面配布への対応は各会・クラブでやる事となるのではないかと感じた。
- (4) 登山時報購読に限って言えば、パソコンやスマートフォンで読むという事は、全国連盟で使う経費が会・クラブの個人に転換されるという事。「機材と通信費は無料ではなく、明らかに登山時報購読の方が安い。「みんなが購読すれば現在の金額で維持できた、みんなが読まないからこうなる」労山会員が労山の機関紙を購読しない理由は会員としての意識の方向が違うのでしょうか。
- (5) 世間のメディア化は進み続けており会員個人も対応を余儀なくされている。パソコンの利用をしなくてもスマートフォンの利用は必須になりつつあるが、個人的出費が増えるのは今後の課題。
- (6) 記録物としては紙面の方が優れている（メディア保存は有期有限）労山の機関誌としての記録保存をどうするか全国連盟は考えているのか。

以上

「全国ハイキング活動者会議(2021/6/26)」報告

HC やまぼうし 滝史郎

日時 2021年6月26日（土） 13時～16時30分
場所 全国労山事務所とZOOM参加
参加者 全国連盟ハイキング委員7名、18地方連盟31会37名
議事 司会：石川委員
基調報告：田上ハイキング委員会委員長

アンケート結果報告：石川委員
特別報告：スマイルマウンテンクラブ（道央・佐藤）
会(クラブ)からの報告：6会から（その他文書のみ2会）
質疑・意見交換

概要

1. 基調報告「恐れず、あなどらず、コロナと対峙したハイキング活動を！」（田上委員長）
 - ① 労山創立 60 周年とハイキング分野での活動の経過
ハイカーとクライマーとの組織的な軋轢からの脱却
 - ② 2020 年、コロナ禍が襲いかかる一感染対策は事故・遭難対策と同じ
多くの会が会員減。感染対策をとりながら山行を追求した会は会員減を食い止めている
 - ③ 今、後退すればハイキング活動の展望は遠のく一恐れず、あなどらず前進しよう！
会員を増やさなければ全てが後退する
2. ハイキング活動アンケート集計結果報告
2021 年 4～5 月に実施。108 会から回答
主な内容：コロナ禍の会の活動への影響、会員数の増減
大都市圏の方が影響大。緊急事態宣言期間の長さ、交通手段の違いによる。
3. 特別報告
スマイルマウンテンクラブ(北海道)の活動の紹介
4. いくつかの会からの報告
倉敷ハイキングクラブ(岡山) ・ 盛岡山友会(岩手) ・ 前橋ハイキングクラブ(群馬) ・ 町田ゲ
ラウス山の会(東京) ・ 西山ハイキングクラブ(京都) ・ きたろうハイキングクラブ(大阪)
5. 質疑・討論
多くの会でリーダーの育成に苦労している

以上

2021 年国民平和大行進

核兵器のない世界へ、平和を願って歩きませんか

1958 年 6 月、被爆地・広島から東京で開かれる第 4 回原水爆禁止世界大会へ、ひとりで歩き始めた平和行進。毎日 2 人、3 人と増え続けのべ 100 万人が参加しました。労山は 1986 年から平和行進に参加。「平和と登山」の旗とともに、労山旗を都道府県の仲間がリレーして広島・長崎まで行進してきました。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、感染防止対策をとりながら「歩く」行進を今年はめざします。「平和な社会でこそスポーツ・文化の発展が保証される」と明確にした労山の趣旨をつないで歩きましょう。各会で労山旗をつないで歩いてください。コース表*を参考に歩けるところを歩きましょう。

広島県勤労者山岳連盟・組織部 坂井

*コース表は p13 にあります。

第3回救助技術交流集会に参加して

県連救助隊長 安達忠雄

7月3～4日(土～日)、福岡県立社会教育総合センター(福岡県篠栗町)で開催され、広島県連からは安達、小形、吉田、後藤の4名の救助隊員が参加しました。全体参加者は、60余名でした。

1日目の7月3日(土)は、屋内の会場で全国連盟の浦添理事長、荒木福岡県連会長のあいさつに続き、①最新の遭難事故統計と事例、②最新の遭難対策機器と民間救助組織について、③福岡県連救助隊、捜索手法の提案、④ココヘリとドローンの捜索紹介の報告が行われました。



①「最新の遭難事故統計と事例」では、2020年度はコロナ禍の影響で事故件数は減少しているものの、登はん(特に人工壁)での事故が多いこと、年齢が上がっている(女性70代)、発生時間は11:00と14:00のふたこぶラクダになっていること、事故の原因では圧倒的に転倒と転滑落が多いこと(両方で80%超)、最近4年間の死亡事故では沢登りでの二重遭難やココヘリ忘れ・ココヘリ電池切れなどが指摘されました。

②最新の遭難対策機器と民間救助組織については、“SPOTGEN3”という衛星携帯通を活用した位置情報を発信する機器の紹介や民間救助組織の「ATCエアレスキュー」、「山岳遭難捜索チームLISS」、ドローンによる夜間の捜索支援サービスの紹介などがありました。

また、③福岡県連救助隊から捜索のやりやすい手法としては、グーグルマップを使用して、【スマホ～長押しマーカー～指定した地点上にスライド～場所を共有～メール(友人、団体)～ライン】という提案があり、広島県連救助隊でも研究して見る必要があると思っています。

④ココヘリとドローンの捜索紹介は、明日の捜索の参考に先進事例である宮城県連が実施したヒトココを搭載したドローンによる遭難救助訓練の内容でした。現時点までの到達知として、ドローン及び中継器のコントロール範囲、ドローンからの計測距離、接近計測方法など、また、当面の課題として「ヒトココサーフィン法(ジグザグ、通過、反転etc)」の確立、地形に応じた発見(感知)しやすい飛行方法・飛行コースの確立、有効な使い方の試行(アイデア募集)、ドローン救助チームの立ち上げなどがあるようです。



2日目の7月4日(日)は、運良く朝方雨が止んで、会場近くの「樹芸の森」に移動し、ヒトココ親機を搭載したドローンと中継器での捜索、班別での地上からのヒトココ捜索が行われました。

ドローン捜索では、20～30分程度で子機Aの位置を発見し、事前に設置した位置情報とほぼ合っていることが確かめられたようです。

地上捜索では、日頃からの捜索訓練のたまものか我々の班が一番早く子機を発見することができました。



広島県連救助隊としても、今年度中に複数名でのココヘリ捜索隊の立ち上げ、ドローンとの一体活用についても展望したいと思います。

第3回全国救助技術交流集会 in FUKUOKA 参加レポート

(2021年7月3日～4日)「佐伯山の会」 吉田昌利

昨今の救助隊組織の役割は、もっぱらセルフレスキューが中心であり、また自分の身は自分で守る観点から、ヒトココ（ココヘリ）を身に付けて山に入ることを真剣に検討していた矢先、今回の救助技術交流集会の内容に興味を持ち参加に至った。

山で遭難した場合、まず自分の位置を見つけてもらわなければ話が始まらない。その意味でもヒトココ（ココヘリ）は非常に有効な手段だと認識しているが、実際に一報を得てヘリを飛ばし遭難者の位置を確認する手順の中で、天候の影響等でヘリを飛ばせないことも想定される。その場合、発見が遅れる訳だが、昨今、いろんな分野で活躍をはじめた「ドローン」の活用が浮上してくる。今回の集会ではヒトココ中継器をドローンに搭載し捜索試験をおこなった「宮城労山」と「東北ドローンサポート」の報告は興味深かった。基本的にはココヘリ（会員制捜索ヘリサービス）を運営する AUTHENTIC JAPAN のビジネスモデルの手順である「ヘリで捜索」部分をドローンに置き換えたもので、上空からなら遭難者の子機を探すのは簡単なことだと想像していたが、思った以上に課題が多く多難であるという印象だった。

まず、技術的なこと。現在のところ、ドローンにヒトココの中継器を搭載するわけだが、ドローンから発せられる電波の影響や谷の角度等で上空からといえど瞬時に発見とはいかず、多角度、また多方向からポイントを詰めていく作業が必要のようだ。

また、操縦者と捜索者との連携も課題の一つである。今後ますますドローン操縦がスペシャリスト化されるだろうし、山を知らない操縦者と捜索者である山を知る我々との密な連携が早期発見のカギを握るだろう。

つぎに法律的なこと。現在、ドローンを飛ばすためには、国交省の許認可、さらに航空法等が壁となり迅速な利用が難しそうである。もともと兵器に転用できるものではあるし、昨今のドローンブームの過程で多くの問題を起こしているので致し方ないが、将来的にはさらに免許制などの制約が増え、ますます手軽に利用するのが難しくなる中で、人命救助の名のもとに速攻で活用できる様、法整備を訴えて行くことが必要である。

ヒトココの中継器とドローンを組み合わせれば、遭難者の発見作業は飛躍的に向上することは疑う余地はないが、その為には解決しなければならない問題は多く前途多難であることが分かった。しかし、これは時間がかかっても一つひとつ解決し実用化する価値は大いにありと実感した。

集会最終日は、実際にフィールド（樹芸の森）に移動し、前もって隠しておいた子機を親機の中継器を搭載したドローンで捜索するデモンストレーションを見学。ドローン自体はテレビなどではお馴染みだが、実際に我が事として目の前でみると興味津々で、機体が大空の彼方、見えなくなったところから中継器を介して子機がある緯度経度を表示すると今更ながらドローンの凄さに驚きを隠せなかった。

我々救助隊としての役割のひとつに遭難者を一刻も早く発見する為に、日頃から地元の山岳地形に精通しておくことはもちろんだが、発見率を高めるヒトココ（ココヘリ）の有用性の啓蒙や普及活動にも力を入れることは、救助隊でありながら救助以前に遭難を防ぐ為に必要なことであり、一登山者の立場から、ヒトココ（ココヘリ）を持って山に入る事がセルフレスキューに繋がると確信した。

第三回 救助技術交流集会 参加報告

報告：後藤

蔓防中の福岡で全国から会員が集まり、宿泊もする今回の救助技術交流会に参加するのは少しだけ不安が過ったが、参加してよかったです。

私が参加した理由は「ヒトココを使ったドローンによる遭難者捜索」これを安達さんから聞いた時に「是非参加させて下さい」と申し出ました。昨今の山岳遭難現場では「遭難者捜索・救助」は山岳会ではなく警察や消防などの行政機関が主体となり、山岳会は山行中に発生した自らのパーティーに対する救助、または近郊の里山での捜索・救助くらいで実行性が失われつつあると感じていました。

私は里山に登ってドローンで空撮するなどしており、ドローンで遭難者捜索などが出来ないものかと感じており実演を見たかったです。

しかしここで問題が発生！ 天気が雨予報でドローン飛行やヒトココでの模擬捜索訓練も実施出来るのか？ ただ幸いなことに私は佐伯山の会では有名な晴れ男である。3日8時集合、梅雨前線へ向け4名で一路福岡へ出発。

昼食は吉田さんお勧めの、「うどんがいい？」ラーメン県ではと思いつつも福岡出身である吉田さんの言葉を信じてうどん屋さんへ行くことに。「釜揚げ牧のうどん」さんへ到着するや、屋前にも関わらず行列ですよ、ゴボウうどんとかしわ飯を注文。これ私は好きです！〇亀うどんより2段階以上美味しいんです。皆さんも是非、福岡ではラーメンではなく「釜揚げ牧のうどん」へ行きましょう。食レポになっていますが、これも大事なことです。

交流集会ですが、3日午後から福岡県立社会教育センターにて座学の開始です。

最近の遭難事故統計と事例では、コロナ渦でも一定数の死亡事故起きており、魔の11時と呼ばれる午前11時に遭難事故が多いことが統計で分かっているとの事、これは昼前で疲労も蓄積しており空腹による血糖値の低下などによる事が少なからず原因でもあると思う。(私の主観)

2020年の山岳遭難数 2,294件 うち死者・行方不明者 278人 負傷者 974人 無事救助 1,445人であった。道迷いが44.0%と最も多く、次いで滑落が15.7%、転倒が13.8%を占めている。

ここが肝心の道迷いとは、里山でも頻発する事である。弥山でも道迷いによる遭難事故は比較的多く発生している事からも注意が必要。

次に最近急速に増えている民間の「救助組織」の紹介が行われたのでここでも紹介しておきます。

ACTエアレスキュー、山岳遭難捜索チームLISS、山岳遭難捜索ネットワーク、ドローンでの夜間捜索専門のNIGHT HAWKS 各組織の詳細はネットで検索してください。

その後、福岡県連から明日の捜索訓練の説明と宮城県連からヒトココ中継器を使ったドローンによる捜索訓練(試験)の紹介では、参加者全員が釘付けなって楽天球団空撮チームのドローンサポートさんが撮影された映像を見ました。実際に2名の方が東北から来られており、直接質問も出来るとあって多くの質問があり、ドローンについての関心の高さが窺えます。

ドローンにヒトココ中継器(親機)を載せて、ヘリの代わりにドローンで空から自分達で捜索出来るのが最大のメリットではないでしょうか。

労山では「ヒトココ労山捜索隊」を全国で結成しており、隊員となっている労山会員がヒトココ親機を持って捜索する組織ですが、この時にも「ヒトココ・ドローン捜索隊」(仮名)として活用できます。時代はドローンですね。但し、法規制遵守で！

宮城県連の試験では、ドローンでの捜索では飛行高度がある程度高い方が受信感度が良い結果が出ており、樹木などが多い場所では木が水分を多く含んでおり電波に影響がある為、出来るだけココヘリ子機を高い位置に上げる事が重要との貴重な実験データでした。

この試験映像はYoutubeで見られます <https://youtu.be/V0U-g5sQUjk>

明日は実地訓練が行われる為、ココヘリの AUTHENTIC JAPAN 久我社長とドローン実演の業者さんの紹介がなされ終了です。

食事と入浴を済ませ、再び集合して各会の紹介がありましたが、これが長くて結局1時間半は経ったでしょうか、ビールなどのアルコールを飲む会の方もいましたが、佐伯は飲みませんここでは！ 北海道連は若い方が多いとの事で、2名参加されていた方も若くて積極的に救助訓練をされているようでした。ただ、他の県連はやはり広島と同じで若い方は自身の山行やクライミングが中心で参加数は少ないみたいでしたが、山岳会は会員皆で組織されるものですから、楽しいことだけするのではなくてもっと参加してほしいところです。会員ですからね。

解散後、コンビニでビールとつまみを買ってきて、佐伯の4名は自室で小宴して就寝。

4日、「樹芸の森」にてヒトココとドローンによる搜索実演とヒトココ親機によるチーム別の搜索訓練です。



晴れ男の私が居るからか、流石に晴れませんでしたが曇り！ 時々小雨で何とかOKでしょう。

ドローン離陸！ ドローンへ搭載したヒトココ親機から、久我社長が手にするヒトココ親機と同じ画面が表示される仕組みで、ドローンの高度を上げていくと「発見！」の声がする。

ここから先はいつものヒトココ遭難訓練と同じで手順で、遭難者の上空でのドローンのGPS座標やカメラ画像から場所を特定しました。この情報を基に地上搜索隊がココヘリ子機を探しに行き無事発見！ 凄い一言ですね。

今後、北海道連さんもこの訓練を実施されるとの事で、広島県連としても実施へ向けて個人的にですが動き出しています。

第三回全国救助技術交流集会（7月3～4日）報告

小形 正則

福岡県立社会教育センターに全国から61名、広島から4名が参加しました。一日目は机上講習で①2020年度事故の概況、②ココヘリとドローンによる搜索事例の紹介等でした。二日目は会場近くの森林公園に移動し、ドローンによる搜索デモンストレーションと6班に分かれてヒトココによる地上搜索訓練を行いました。

2020年度はコロナの影響で山行回数が減少し、事故数は前年の330件から236件となったが、事故の傾向は従来と変わらず、中高年の事故が多く、事故者の年齢別分布では男性60～69、女性70～74が最も多く、11時と14時にピークがある。ここ最近、人工壁で、ファーストピンにかける前のグランドフォールや確保ミスによる事故が増えているそうです。

ドローンによる搜索はヒトココの親機に通信機能を持たせたものを地上でモニターし、ドローン操縦者に位置情報を伝えながら、上空100m～150mを飛行させながら、遭難者が持つ子機をからの電波信号の発信位置を何往復もして特定するものである。上空からなので地上より電波を捕捉しやすく、

まっ直ぐ飛ぶので地上を移動しながらの検索よりもはるかに早く位置を特定できる優れたものである。しかし、飛行禁止区域等の法律の学習、ドローンやヒトココの操縦技術等、ドローンを使った検索には越えるべきハードルがいくつもあり、思ったより簡単ではないが、これから発展していく新しい検索手段として大いに期待できる機器であることが分かりました。

2021年度 気象ステップアップ講座「夏山」を実施しました

県連山行部 住田雅昭

6月12日(土)に計画していた“気象ステップアップ講座「夏山」”を1ヶ月遅れの7月10日(土)に無事に実施できました。コロナ禍に加え、梅雨末期の大雨が西日本を襲うという状況の中、公共交通機関の運休や遅れが発生して、参加できない方が多数おられるかと心配していましたが、14名の方に参加(1名欠席)していただけました。参加者の内訳は、男性6名、女性8名、年齢構成は、50歳代1名、60歳代10名、70歳代3名でした。

滝講師による講座のアウトラインは、

- ・ 天気の変化はどのようにして起きるか
- ・ 温帯低気圧による天気の変化
- ・ 天気図によって天気の変化傾向を判断する
- ・ ジェット気流と高層天気図
- ・ 季節変化と気象の特徴 雷・台風
- ・ 気象情報の入手はインターネットやスマホで

講座の前半は、雲の形を見てみましょう。そして、雲とは何か? 雲はどうしてできるのか? という素朴な疑問から話が始まり、さらに、地球規模で起こっている大気の大循環まで話が展開し、まるで学校の授業を受けているようでした。

休憩後の後半では、実際の天気図を基に、山では、どのような状態になっているのか説明していただき、山行時の天気に関する情報の大切さを痛感しました。

2時間30分があっという間に過ぎ、最後の質疑応答では、夏場の高山の尾根で雷に遭遇した時の対処方法について、話が盛り上がりました。

参加いただいた方にお願したアンケートの結果を以下に列記します。

Q.5 本日の講座の中で、夏山山行で実践したい内容は、どの部分ですか?

- ・ 雷時の対処方法
- ・ 山行時に、気象予報、高層天気図の週間予報支援図を見ておく
- ・ 山で雲を見て、天気の変化を予測する
- ・ 天気予報(ネット)を活用する

Q. 6 2021年度は、夏山気象、冬山気象、地図ソフトの3件のステップアップ講座を計画しています。来年度以降、開催を希望する山の講座は、ありませんか?

- ・ テーピング、ロープの使い方
- ・ トレーニング(山筋ゴーゴーを含む)
- ・ 幕営実践講座(実践登山を含む)
- ・ 高層天気図に絞った気象講座
- ・ 地図読み、実際の山行で地形と地図を比較しながらの講座
- ・ スマホの便利な山のアプリの活用方法
- ・ 過去の事故に学ぶ
- ・ 外傷防止、応急処置

Q. 7 その他、何かありましたら、記入をお願いいたします。

- ・ 中級登山学校(幕営縦走、アルパインクライミングなど)の企画ができないか
- ・ もう少し拡大された資料だと嬉しいです

以上

広島西 WF の環境影響評価方法書に対する要望書を広島県知事へ提出

現在、(仮称) 広島西ウィンドファームの環境影響評価方法書に対する関係地元自治体 (広島市、廿日市市、安芸太田町) の意見書が広島県知事に提出されています。

* 広島市の意見書 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/119974.pdf>

* 廿日市市の意見書 <https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/uploaded/attachment/48012.pdf>

* 安芸太田町の意見書 <http://www.akiota.jp/contents/000025822.pdf>

広島県知事はこれら関係地元自治体や広島県が設置している専門家で構成する技術審査会 (6月17日付けで諮問中) の意見を考慮して事業者に対して意見を述べるようになっていきます。

* 現在の手続き状況 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/hiroshimanishiwindfarm.html>

広島県連では、登山者の意見が反映出来るよう以下のような要望書を広島県知事に提出しました。

2021年6月18日

広島県知事 湯崎 英彦 様

〒738-0035 広島県廿日市市宮園 1-5-18 安達忠雄方

広島県勤労者山岳連盟

理事長 安達忠雄



「(仮称) 広島西ウィンドファーム事業環境影響評価方法書」に対する貴県意見書の内容について (要望)

紫陽花の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、6月12日の中国新聞報道を契機に貴県のHPを閲覧したところ、関係市町の意見書がすでに提出されており、これからそれらの内容や技術審査会の意見などを考慮されて貴県として「(仮称) 広島西ウィンドファーム事業環境影響評価方法書」に対する意見書を事業者へ提出されることを知りました。

弊連盟としては、事業実施区域内にわれわれが日頃から親しんでいる市間山・立岩山・湯来冠山などの山々が含まれており、風車・工事用道路・管理用道路などの設置により、これらの登山道や周辺の山岳自然の損壊、また周辺の山々からの自然景観が損なわれることを危惧しております。

つきましては、廿日市市長の意見書に「特に、対象事業実施区域内及びその周辺状況について熟知する県内の主要な登山・山岳団体の意見を十分に聞き取りする」とあるように、「人と自然との触れ合いの活動の場」の利用者として登山者の意見が反映できるよう、貴県の意見書にも同趣旨の内容を明示して頂くようお願い申し上げます。

市間山・立岩山を登って

やまぼうしの定例山行下見で、市間山、立岩山を登った。
5月23日の予定だった定例山行は、コロナ禍のために中止。

日時：2021年5月3日(月・祝)

メンバー：CL 川谷、SL 中田、川后、佐々木

行程：市間山登山口 10:00~11:00 市間山 11:10~12:10
立岩山 12:50~13:30 日の平山~14:10 立岩山~15:00
市間山~16:00 登山口

感想：杉や桧の人工林の里山歩きは、薄暗く湿っていて、
気持ちがふさぐ。

その点、ブナ林などの山歩きは、晴れやかで気持ちが良い。

「サルメンエビが咲いているかも」と聞いて5月の連休に、
市間山、立岩山と日の平山を往復してきました。

登山口から急登を尾根筋まで登るとブナなどの自然林が新
緑のトンネルと可憐な野花で迎えてくれた。

花担当のSLから花々のレクチャーを受けながら登ると、
あったーとの声、可憐なサルメンエビネと対面することがで
きた。日の平山まで往復して、7、8株のサルメンエビネを
見つけることができた。

絶滅危惧種にも指定されているサルメンエビネは、数年前
までまだまだたくさんの株が見られたとのこと。

立岩山山頂は、畳十畳ほどの広さで、眺望が良い。

立岩貯水湖の先、十方山がよく見える。北には芸北の山々
が広がり、南を見ると大峯山から廿日市市・大竹市方向が望
める。



近い将来に個体群の存続が危ぶまれる

■サルメンエビネ (ラン科)

Calanthe tricarinata

ブナ帯の自然度の高い森林下に生える
常緑の多年草。北海道，本州，四国，
九州，台湾，ヒマラヤに分布する。広
島県ではブナ林やブナ帯にあるスギ植
林内に生える。



ブナ林と山
野草に囲まれ

た立岩山・市間山の縦走路は、広島県下には数少ない素
晴らしい自然が残っている、気持ちよく、心晴れやかに
歩ける登山道でした。

ここに、大規模な風力発電施設を建設する計画がある
と聞くと、この豊かな自然・環境は、次の世代に引き継
がなければならない大切な宝物だと強く思った。

秋には、HRCの定例山行で布原からの縦走を計画して
いる。

※[地理院地図に標記された「立岩山」は、「日の平山」
です。「立岩山」は標記より東方の三角点(1134.9メー
トル)の位置です。]

おまけ：尾根筋に取り
つく急登で、コシアブラ
を少しいただいた。SLの
助言でスパゲティーに
して食べました。誠に美
味でした。



ハイキングクラブやまぼうし
ひろしま令峰クラブ(HRC) 佐々木英幸

2021年 国民平和大行進 広島県内コース

(会員に限る)

東京→広島Aコース

7月26日(月) 福山市大門2丁目三角公園(岡山県との引継ぎ式) 12:20 ⇒ 12:40 発 手城小学校 15:00 着(休憩) 15:30 発 福山市役所 16:30 着(到着式)
7月27日(火) 福山市役所(出発式) 9:50 ⇒ 10:00 発 山手町県営南泉住宅 11:15 発 済美中学校 12:45 着(昼食) 14:00 発 松永駅 16:00 着(浄土寺下まで車移動) 浄土寺下 16:30 発 尾道市役所 17:30 着
7月28日(水) 尾道市役所(出発式) 9:50 ⇒ 10:00 発 新浜フェリー埠頭 11:30 着
7月29日(木) 三原駅前(出発式) 10:15 ⇒ 10:30 発 三原リージョンプラザ 10:50 着(到着式)
7月30日(金) ※川尻・月の浦から行進 竹原市役所(出発式) 9:45 ⇒ 10:00 発 竹原ゆめタウン・スタンディング 10:10 安芸津駅・スタンディング 10:50 安芸津支所 11:20(昼食) 藤三・スタンディング 12:30 川尻・月の浦 13:20 ⇒ (行進) ⇒ 川尻駅 川尻駅・スタンディング 13:50
7月31日(土) 東広島市役所(出発式) 9:30 くらら・スタンディング 10:10 フジグラン東広島・スタンディング 10:50 ファミマ国近店・スタンディング 11:30 門前神社 12:10 着(昼食) ビッグハウス・スタンディング 13:10 ゆめタウン黒瀬・スタンディング 13:40 市飯田 JRバス駐車場 14:10 着(到着式) ※市飯田から参加者は車で移動(西条駅)
8月1日(日) 仁方駅(出発式) 9:10 ⇒ 9:20 発 広支所(JR新広駅隣) 12:00 着(到着式)
8月2日(月) 呉市役所前(出発式) 9:10 ⇒ 9:30 発 JR吉浦駅 12:00 着(到着式)
8月3日(火) 坂町役場(出発式) 9:05 ⇒ 9:20 発 海田町役場 11:40 着(到着式) 12:00 発 安芸区役所 12:30 着(昼食) 14:00 発府 中原爆慰霊碑前 15:50 着(到着式)
8月4日(水) 府中原爆慰霊碑・出発式 8:45 ⇒ 9:00 発 東区役所 9:45 着(到着式) 広島駅前大橋 10:10 着(休憩) 10:25 発 本通直進⇒元安川東側北上⇒原爆ドーム・予定 11:30 着(集結集会)

富山→広島コース

7月30日(金) 赤名峠・上赤名会館(島根県との引継ぎ式) 14:00~14:30(行進なし)
7月31日(土) 三次市役所(出発式) 8:40 ⇒ 8:55 発 志和地駅(川地コミュニティーセンター) 12時着(到着式)
8月1日(日) 安芸高田市役所(出発式) 9:00 ⇒ 9:15 発 八千代支所 12:30 着
8月2日(月) 安佐北区役所(出発式) 9:15 ⇒ 9:30 発 津田診療所 9:50 着(休憩) 10:05 発 北民商 11:15 着(休憩) 11:25 発 安佐南区役所 12:30 着(到着式)
8月3日(火) 安佐南区役所(出発式) 9:30 ⇒ 9:40 発 熊野神社 10:50 着(休憩) 11:10 発 新庄橋北詰 11:30 着(到着式)
8月4日(水) 新庄橋北詰(出発式) 9:20 ⇒ 9:30 発 横川橋北詰(休憩) 10:20 発 十日市(交)左折⇒原爆ドーム・予定 11:30 着(集結集会)

東京→広島Bコース

8月4日(水) 皆実町児童公園(出発式) 9:30 ⇒ 9:40 発 南区役所 9:55 着(到着式) 10:10 発 中区役所 10:50 着(到着式) 11:05 発 紙屋町(交)左折⇒原爆ドーム・予定 11:30 着(集結集会)
--

2021年7月～8月 県連関係スケジュール表

(注)太字は全国連盟・中地協・県連関係行事を示す。

7月			8月		
日	曜	内容	日	曜	内容
4	日	中野冠～一平山家(や) 大平山(佐H) 岩トレ12(佐V)	1	日	広高谷[沢,匹見峡](広) 岩トレ16(佐V)
5	月	学校④[天候判断]	4	水	平和行進・集結集会
10	土	三役・事務部合同会議② ステップアップ講座①「夏山気象」	7	土	理事会③
11	日	学校実技登山③[蓮華寺山～高城山] 極楽寺山(や) 大鹿山(呉) 臥龍山～掛頭山(令) 岩トレ13(佐V)	7-8	土-日	赤ナメラ沢/寂地峡(や)
13	火	岩トレ14(佐V)	7-11	土-水	定例合宿(桃)
16	金	組織部会②	8	日	那須三つ滝[ウラオレ谷](呉) 岩トレ17(佐V)
17-19	土-月	県外沢登り[四国](佐V)	※		日本アルプス(広)
18	日	白木山(広)	22	日	浦石峡[沢登り](佐V) 東郷山(呉) 赤ナメラ[羅漢溪谷](令)
19	月	学校⑤[計画立案と安全確保]	24	火	岩トレ18(佐V)
24	土	三段峡グルの瀬付近(桃)	28	土	カレイ谷から安蔵寺山(桃)
25	日	学校実技登山④[宮島弥山]及び卒業式 奥三段峡[沢登り](佐H) 奥匹見[沢歩き](呉) 岩トレ15(佐V)(令)	28-29	土-日	大山登山[キャンプ](や)
※		大山ユートピア方面?(桃)	29	日	恐羅漢山(広) 岩トレ19(佐V,令) 小五郎山-浦石峡(佐H)
30-1	金-日	学校OP「白山」			

新型コロナウイルス感染対策などのため計画の変更がありますので注意

各会 山行 担当 者等 連絡 先	団体	広島労山	やまぼうし	佐伯山の会 (ハイキング・教育)	佐伯山の会 (バリエーション)	
	名前	宮本 隆志	皿家 琢司	舞田 健	安達 忠雄	
	電話	090-6411-3497	090-1320-8609	0829-39-0226	090-5376-7050	
	E-mail	h-sashsekkei@do6.enjoy.ne.jp	saratakuab@yahoo.co.jp	takashi.maitaken@gmail.com	t1t07mf1@ene.megaegg.ne.jp	
	団体	呉労山	県北山の会	桃源郷クラブ	令峰クラブ	
	名前	二井原 康夫	奥田 米男	香川 佳久	住田 雅昭	
	電話	090-1334-3936	090-4655-6680	090-7503-3372	082-921-2045	
	E-mail	niih-70eka@wave.plala.or.jp	m12ony8f7b@hi2.enjoy.ne.jp	splitcane@snow.megaegg.ne.jp	sumita@sky.megaegg.ne.jp	
	広島県連		安達 忠雄	090-5376-7050	t1t07mf1@ene.megaegg.ne.jp	

県連ニュース2021年7月号 (発行日2021年7月15日)

発行; 広島県勤労者山岳連盟 編集責任者; 滝史郎

〒735-0006 安芸郡府中町本町1-10-55-201 E-mail: info@hpwaf.main.jp